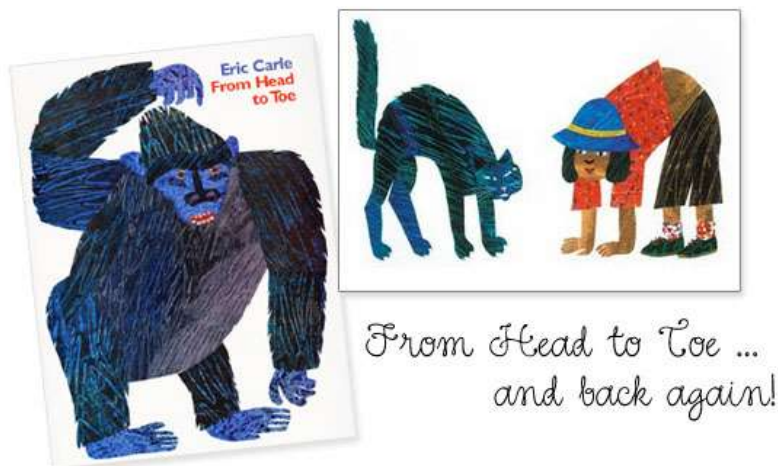


## 金ヶ崎小学校の英語活動

### (低学年)

金ヶ崎小学校の1・2年生の皆さんは英語が大好きです。英語で会話をしたい気持ちがとても高いです。今年から（H26年）、英語活動を年間20時間行います。今まで16時間終わり、3学期で後4時間をする予定になっています。



1学年は簡単な自己紹介、数字、色、体の部分、と比べの言葉を勉強しました。2学年はだいたい同じ内容ですが、2年生レベルに上げてもっと難しくしています。数字を勉強したり、もっと色、多くの体の部分、2つの物を英語で比べられたりできるようになりました。

最初は1学年について説明をしてから、2学年のほうに移りたいと思っています。

今年、すごくびっくりしたところは、1年生がもう世界についてかなり詳しく知ったことです。今年最初の授業から英語と日本語以外、4ヶ国語の挨拶が聞きました。「ナマステ」「アンニョハセヨ」「ボンジュール」「ニハオウ」インド語、韓国語、フランス語、と中国語の「こんにちは」。色々な国のクリスマスについてのレッスンをしたら、子どもたちからほかの国のクリスマスについて色々聞かれました。トルコのクリスマス、ベルギーのクリスマス、ウルグアイのクリスマス、エチオピアのクリスマス、などについて聞かれました。ふつう、1年生はその国の名前が知らないと思います。とてもびっくりしました。





英語の勉強についてですが、子どもたちの覚える力はすごいです。夏休みちょっと前にバナナについてのチャンツを教えました。色々な動詞（切る、食べる、飲む、など）を使いながらバナナについて話しました。11月ぐらいにもう一回このチャンツをやってみようと思えば、ほぼ全員が覚えていて、全てを言えました。びっくりしました。

2学年はもっとレベル高いコミュニケーション活動をしています。数字や色

や体の部分を勉強しているのですが、数字を12で終わるのではなくて、20まで勉強します。英語の13から19はちょっと難しいですが、私は実は20より上の数字も教えました。ある日、廊下で2年生の子が私にこう言いました、「13と30の言い方の違いはなんですか？」そう聞かれて、とても嬉しかったです。確かにThirteenとThirtyの発音の違いはとても近いです。その子に教えた後、次の英語の時間にクラスのみんなに教えました。

2学年は何週間を続けて色々な比べの言葉を覚えました。最初は簡単な大きいと小さいから始まりました。だんだん、速いと遅い、重いと軽い、暑いと寒いなどまで勉強しました。その中でとても好きな文は「どっちが重い、赤ちゃんかお相撲さん？」もちろん答えは…お相撲さんですね。2年生が新しいことを習いたい力がとてもありますので、これからどんどん育てたいと思います。





最後に全校で行っているけど、ほぼ1・2年生が参加していることについてお話ししたいと思います。毎週の火曜日の昼休みに図書ホールでダニエルのコーナーを行います。そこで、英語の早口言葉に挑戦してみたい人、英語で挨拶をしてみたい人、英語でどうやって言えばいいのって聞きたい人が集まります。挑戦することができたら、私が作った「金ヶ崎パスポート」にシールをもらうことができます。けっこう多くの1・2年生が来ますので、3・4人の6年生のボランティアサポーターがいます。その6年生が低学年の子どもたちと英語を

話してみたり、早口言葉を聞いてくれたり、とても良いロールモデルになっています。英語の楽しさを上手に低学年に伝えてくれています。6年生のみなさん、ありがとうございます！